

2020 スピードスケートユースオリンピック派遣選手選考基準

2020 ユースオリンピック冬季競技大会概要

- (1) 期日
2020 年 1 月 10～19 日
- (2) 場所
スイス・ローザンヌ
- (3) 年齢制限
2002 年 1 月 1 日から 2004 年 12 月 31 日の間に生まれたもの
- (4) 参加資格タイム
国際スケート連盟 (ISU) の設定する参加資格タイムを所持していなければならない (参加資格タイムは 2018 年 7 月 1 日に公表予定となっているが、未だ公表されていない)
(参加資格タイムは 2018 年 7 月 1 日から 2019 年 12 月 8 日の間にクリアすること)
- (5) 派遣可能人数
男女各最大 3 名
- (6) 競技種目
男子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)、チームスプリント
女子：500m (2)、1500m (2)、マススタート (2)、チームスプリント
※括弧内は最大枠数で、2018 年度に開催される世界ジュニアスピードスケート選手権大会 (イタリア・バゼルガディピネ)、2019 年度に開催されるジュニアワールドカップ第 1 戦 (2019 年 11 月 23～24 日開催予定) 及び第 2 戦 (2019 年 11 月 30～12 月 1 日開催予定) の成績により割り振られる。
※チームスプリントは NOC 混合チームでのレースで、ユースオリンピックでの 500m 及び 1500m の成績によって ISU ルールに従ってチーム編成がなされる。

【決定の方法】

派遣選手選考は、以下の基準に基づき、強化委員会が推薦し、選考委員会又は理事会で承認することによって決定する。

【派遣選手団の編成方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待される選手の中から選考する。
2. 日本代表として十分な活躍が期待できる種目を優先的に選考する。
3. 行動規範を遵守し、活力ある日本スケート連盟を代表するに相応しい選手・役員をもって編成する。

【特記事項】

- ・ 第1次選考（2018年度）を通過した者が第2次選考（2019年度）へ進み、この通過者を対象として第3次選考が行われ、決定する。
- ・ マススタートの派遣選手は、当該年度のJOCナショナルコーチ、スピードスケート強化部長及びジュニア強化責任者が、国際競技会での活躍を前提とした総合的な検討を加えながら、当該派遣選手団の中から出場可能な選手を選考する。
- ・ 参加要項に変更があった場合は、それに準じて選考基準を再検討して変更する場合がある。

1. 第1次選考

【選考年齢区分】

上記年齢制限の条件を満たす者

【選考基準】

- (1) 今年度（2018年度）に開催される第39回全国中学校スケート大会（長野市）又は第9回高校選抜スピードスケート競技会（帯広市）のいずれかにおいて、以下の成績を残した者。
 - ① 第39回全国中学校スケート大会においては、男女500m又は男女1500mの年齢区分に該当する選手（以下、該当選手）の順位における上位3位以内。
 - ② 第9回高校選抜スピードスケート競技会においては、男女500m又は男女1500mの該当選手の順位における上位3位以内
- (2) 2018年度に開催される世界ジュニアスピードスケート選手権大会（イタリア・バゼルガディピネ）における男女500m、男女1500mの日本代表選手

【その他】

- ・ 上記の基準を満たした選手には、次年度（2019年度）に開催を調整中である2019/20ジュニアワールドカップ選手選考競技会において、男女それぞれ500m及び1500mの出場権を与える。
- ・ 上記選考基準を満たした選手は、ユースオリンピック派遣候補者として登録し、JOCによる派遣前手続きを実施する。
- ・ 上記の選考基準で判断できない場合は、強化委員会の協議によって選考する。

第2次選考以降の選考基準は、次年度に開催される国内競技会、ジュニアワールドカップ第1戦及び第2戦の詳細に関する通知がなされた後に決定する。